

殺虫剤

BT剤

サンケイ

サブリーナ®フロアブル

有効成分：バチルスチューリンゲンシス菌の
生芽胞及び産生結晶毒素……………10%



農林水産省登録 第21695号

性 状：褐色水と性粘稠懸濁液体

毒 性：普通物

消 防 法：危険物第4類第3石油類

有効年限：3年

包 装：100ml瓶×50, 500ml瓶×20

特 長

サブリーナ®は、明治製菓㈱の登録商標です。

- コナガやチャノコカクモンハマキ等多くのチョウ目幼虫に高い効果があります。
- 拡張性の高い製剤なので展着剤加用の必要がなく、また、作物に対して汚れの少ない製剤です。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用 方法	BTを含む 農薬の 総使用回数
野菜類 (はくさいを除く)	コナガ	1000～ 1500倍	100～300ℓ /10a	発生初期 収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
	アオムシ、ヨトウムシ	1000倍					
	ハスモンヨトウ	500～ 750倍					
	オオタバコガ	500倍					
はくさい	コナガ	1000～ 1500倍					
	アオムシ、ヨトウムシ	1000倍					
からしな (種子)	アオムシ、コナガ ヨトウムシ	1000倍					
	ハスモンヨトウ	500～ 750倍					
豆類(種実) いも類	ヨトウムシ	1000倍					
	ハスモンヨトウ	500～ 750倍					
	オオタバコガ	500倍					
雑穀類	アワノメイガ	1000倍					
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ	1000倍	200～400ℓ /10a	発生初期 摘採7日前まで	3回以内		3回以内

使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- はくさいに対しては薬害を生じる恐れがあるので、所定の希釈倍数を厳守してください。
- 展着剤を加用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤の加用に当たっては事前にその適否を確認してください。
- たかなに使用する場合、高温期には薬害を生じることがありますので注意して使用してください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、十分かきまぜて散布液を調製してください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面散布施用の肥料とは混用しないでください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 本剤は若齢幼虫に効果が高いので、若齢幼虫期に時期を失せず散布してください。
- 蚕に対する毒性があるので、養蚕地帯及び養蚕農家、共同飼育場などの周辺では使用しないでください。また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合、飛散してかからないように、風向きなどに十分注意して散布してください。なお本剤の使用に当たっては散布地域の使用規制に従ってください。

- コレマンアブラバチの活動に影響を及ぼす可能性があるので注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の点に注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設等では使用を避けてください。なお、ミツバチを放飼する場合は散布後、1日以上たってから行ってください。
 - 養蜂が行われている地域では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は、作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けてください。
- 夏期高温時の使用を避けてください。

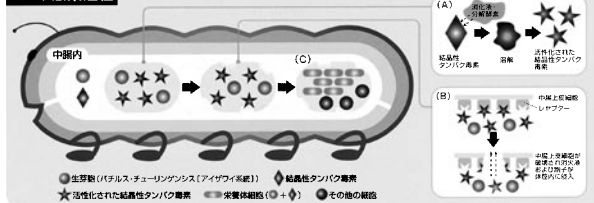
技術情報

●作用機作

サブリナフロアブルはBT剤ですので、チョウ目幼虫に食下されると生芽胞と結晶性タンパク毒素が、中腸内で下記のような殺虫作用を示します。

1. 生芽胞と結晶性タンパク毒素がチョウ目幼虫に食下されます。
2. 中腸内のアルカリ性消化液と分解酵素が働き、結晶性タンパク毒素が活性化されます。(A)
3. 活性化した結晶性タンパク毒素が中腸上皮細胞の受容体（レセプター）に結合し、中腸上皮細胞が壊死し、消化液および胞子が体腔内に侵入します。(幼虫は口腔または中腸の麻痺を起こし摂食を停止します) (B)
4. 体腔内に侵入した胞子が栄養体細胞となって増殖し、同時に他の細菌による2次感染も起こります。(幼虫は衰弱あるいは敗血症により死亡する) (C)
5. 菌体内に胞子と殺虫性タンパクが形成され、チョウ目幼虫の体外に放出されます。

BTの感染過程

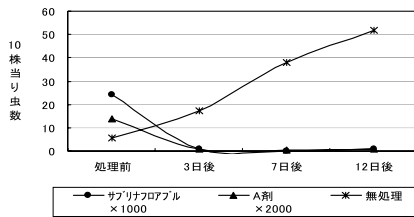


■使用時の注意



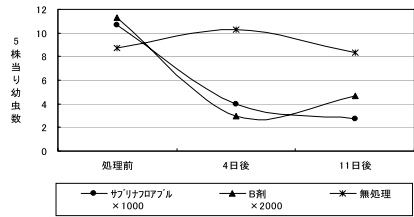
●サブリナフロアブルの薬効試験成績

コナガに対する効果



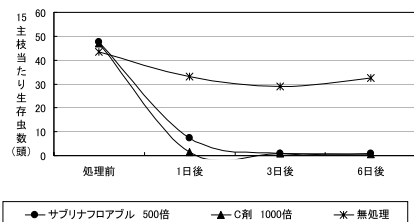
試験年度：平成13年度
 試験場所：長野県野菜花き試験場
 作物名：キャベツ
 定植日：7月24日
 処理日：8月28日

アオムシに対する効果



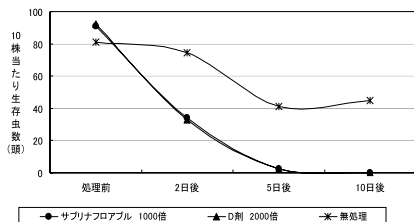
試験年度：平成13年度
 試験場所：北海道南試験場
 作物名：キャベツ
 定植日：7月3日
 処理日：7月13日

ハスモンヨトウに対する効果



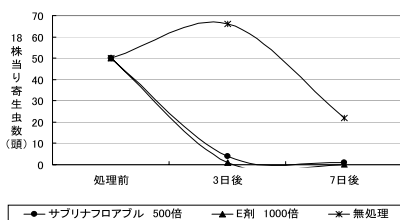
試験年度：平成14年度
 試験場所：(社)日本植物防疫協会研究所
 宮崎試験場
 発生状況：中→少発生
 作物名：なす(黒陽)
 定植日：3月28日
 処理日：5月16日

ヨトウムシに対する効果



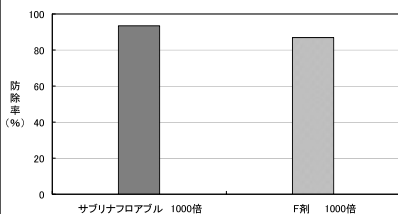
試験年度：平成14年度
 試験場所：(社)日本植物防疫協会研究所
 宮崎試験場
 発生状況：少発生
 作物名：だいこん(やった根)
 は種日：10月3日
 処理日：10月30日

オオタバコガに対する効果



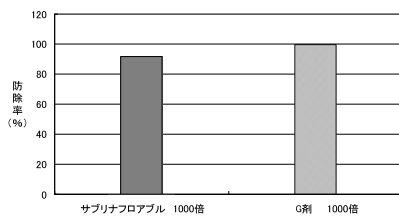
試験年度：平成17年度
 試験場所：(社)日本植物防疫協会研究所
 発生状況：多→少発生
 作物名：キャベツ(金系201号)
 定植日：8月30日
 処理日：10月6日

チャハマキに対する効果



試験年度：平成15年度
 試験場所：静岡県茶業試験場
 発生状況：少発生
 作物名：茶(やぶきた36年生)
 処理日：5月21日

チャノコカクモンハマキに対する効果



試験年度：平成13年度
 試験場所：熊本県農業研究センター
 球磨農業研究所
 発生状況：少発生
 作物名：茶(やぶきた32年生)
 処理日：6月25日

アワノメイガに対する効果（体系処理の例：とうもろこし）

最終散布 11日後のとうもろこし果実被害数

試験年月：平成21年6月
 試験場所：埼玉県深谷市一般圃場

発生状況：少発生
 作物：とうもろこし
 処理日：6月16日、27日

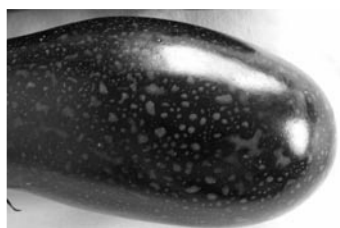
試験区 No.	薬剤散布時期		調査果数	被害果数	被害果率 (%)
	雄穂抽出期 (6/16)	雌穂抽出期 (6/27)			
1	サブリナフロアブル 1000倍	サブリナフロアブル 1000倍	24	0	0
2	サブリナフロアブル 1000倍	H剤 1000倍	25	0	0
3	H剤 1000倍	サブリナフロアブル 1000倍	25	1	4
4	H剤 1000倍	H剤 1000倍	20	1	5

●汚れについて

サブリナフロアブルは汚れが少ないよう製剤化されています。



サブリナフロアブル 500倍



I剤 500倍